

## 浜岡原子力発電所における訓練について

浜岡原子力発電所での日頃の取り組みとして、トラブルを未然に防ぐため、プラントや機器の異常兆候を見つける技能習熟に加え、万一、事故が発生した場合を想定し、事故の速やかな収束活動、社内・社外との迅速・確実な情報共有など、原子力災害対策の更なる充実に向けた訓練を積み重ねています。

また、各種訓練毎にPDCAを回し、かつ、訓練同士を関連付け、さらに社外のご意見、ご指摘を取り入れることで、訓練全体の実効性を高めています。

### 総合訓練

指揮者の判断能力や実践力の向上のほか、指揮者の指示の下での対応手順の確認や、情報連携などの対応能力の向上を図るための訓練です。

開催頻度	年2回（2016年度は2016年10月18・19日に全社防災訓練、2017年3月1日に原子力防災訓練を実施）
参加事業場	全社防災訓練：本店、浜岡原子力発電所、東京支社、各支店、各事業場 原子力防災訓練：本店、浜岡原子力発電所、東京支社、静岡支店
参加人数	2016年度実績 全社防災訓練：約10,000人（浜岡原子力発電所の参加者は約560人） 原子力防災訓練：約700人（浜岡原子力発電所の参加者は約540人）

### 訓練における体制と実施している主な訓練

#### 発電所 緊急事態対策本部

（役割）  
戦略立案、現場対応、対外通報等の発電所の事故収束対応

#### 実施している主な訓練

- ・ 重大事故等対応訓練
- ・ モニタリング訓練



#### 緊急事態対策本部 本店 (原子力施設事態即応センター)

#### 非常災害対策本部

（役割）  
地震等による災害時の電力供給対応



（役割）  
発電所の支援等の原子力災害対応  
実施している主な訓練

- ・ 対策本部設置・運営訓練
- ・ プレスルーム設営・運営訓練
- ・ 災害対策支援拠点設営訓練

各支店社

### 現場訓練

#### 【目的別訓練】

緊急時における現場作業の習熟、注水機能や電源機能を備えた可搬型車両や重機の操作技能を維持・向上するための訓練です。

開催頻度	随時実施（2016年度は約700回実施）
主な訓練	電源車操作訓練、瓦礫撤去訓練、ホース敷設訓練、環境モニタリング訓練、可搬型モニタリングポスト設置訓練 等
参加事業場	浜岡原子力発電所
参加人数	2016年度：約6,000人（延べ人数）



・ 電源車操作訓練



・ ホース敷設訓練（夜間）

重機・車両取扱資格の取得状況

大型車両：約80名（電源車等）不整地車両：約60名（注水車等）車両系建設機械：約60名（重機類）

#### 【外部電源復旧訓練】

福島事故における外部電源確保の重要性を鑑みて、工務部門・配電部門が主体となる外部電源復旧訓練を実施しています。

開催頻度	年1回（2015年度：2016年2月24日～26日、2016年度：2017年2月20日～22日）
参加事業場	浜岡原子力発電所、静岡支店、静岡支店内各事業場（工務・配電・総務部門）
参加人数	1回あたり約130名（延べ人数）



・ 発電所構内に移動用変電設備を設置する訓練

## 図上演習

発電所長をはじめとする指揮者の判断能力向上を目的に、状況判断や各対応班の連携を確認するための訓練です。

開催頻度	年3回以上（2016年度は5回実施）
想定事象	発電所へのテロ攻撃、サイバー攻撃、疫病の地球規模の流行（パンデミック）、防波壁を上回る高さの津波 等
参加事業場	浜岡原子力発電所
参加人数	1回あたり数十人規模（発電所長、部長、課長等の緊急時組織の指揮者クラスの要員）



### ・原子力安全推進協会（JANSI）との連携

JANSIが主催する図上演習を浜岡原子力発電所で実施しました。

開催頻度	不定期（2015年度：1回 2015年11月9日 2016年度：1回 2016年7月8日）
参加事業場	浜岡原子力発電所
参加人数	1回あたり6人



## 外部組織との連携

自主規制機関であるJANSIと連携して対応能力向上に取り組んでいます。

自衛隊の訓練を視察するとともに、当社の総合訓練を視察いただき、指揮命令について、ご意見をいただいています。また、陸上自衛隊の隊内生活体験等に参加し、緊急時の対応能力向上に取り組んでいます。

### ・陸上自衛隊の隊内生活体験への参加

陸上自衛隊板妻駐屯地へ約2日間の体験入隊を行い、緊急時の指揮・命令などの対応力向上に努めています。

開催頻度	年1回程度（2015年度：2016年2月16日～18日、2016年度：2016年10月24日～26日）
参加事業場	浜岡原子力発電所
参加人数	1回あたり20人



## シミュレーター訓練

運転についての技術・技能を維持、向上するために、運転シミュレーターを活用した訓練を実施しています。

開催頻度	2016年度実績：約150日実施（各当直チーム単位による合計訓練数）
参加事業場	浜岡原子力発電所
参加人数	1日あたり約10人



## 静岡県主催の原子力防災訓練への参加

避難退域時の放射線測定検査や除染等、避難に必要な教育・訓練を実施しています。

開催頻度	年1回（2016年度：2017年2月9日～10日）
参加事業場	本店、浜岡原子力発電所、静岡支店、他（2016年度は岡崎支店が参加）
参加人数	約100人（浜岡原子力発電所の参加者は約50人）



### ・新東名浜松SAにおける住民避難時の検査 ・避難者を乗せた車両の除染作業

また、オフサイトセンターへ要員を派遣し、発電所の情報を適宜、共有できるように、国・自治体、関係機関と連携した訓練を実施しています。



### ・オフサイトセンター 原子力災害合同対策協議会 ・オフサイトセンター 事業者ブース